



稲穂のさとし

あたりまえのことがあたりまえにできる学校

吉見町立吉見中学校
学校だより 第6号
令和6年9月2日

2学期スタート

44日間の夏休みを終え、今日から2学期が始まりました。

この夏休み中も、部活動等で登校して来た子供たちがいたとはいえ、やはりどこか静かな校舎でした。しかし、今日からこの吉見中学校に再び活気が戻ってきました。

今夏も、異常気象ともいえる猛暑日が続き、熱中症の心配も尽きませんでした。また、埼玉県は対象外ではありましたが、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表され、改めて地震を含めた自然災害について考えさせられました。

しかし、保護者や地域の皆様が、夏休み中も、本校の子供たちを大切に育てていただいたおかげで、大きな怪我や事故もなく、2学期始業式を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

さて、秋は実りの季節です。本校では、生徒と教職員における信頼関係を強固に築き、「すべては子供のために」をモットーとして教育にあたっています。そして、1学期以上の大きな成果を実らせたいと思っております。

2学期も、御家庭と地域の温かな御理解と御協力により、教育活動を進めてまいります。何卒よろしくお願いいたします。



2学期のスタートダッシュを決める！！

いよいよ2学期の始まりです。気持ちを新たに、2学期のスタートを切りたいものです。2学期は、もっとも中学生が輝く学期です。

文化祭、修学旅行etc…。部活動では、新人戦も控えています。さらには、スリーデイズチャレンジ(社会体験チャレンジ)などもありますね。3年生にとっては、進路選択が本格化してきます。

これら色々なことが、皆さんを待ち受けています。そしてこれらのことを成功させるカギは、吉見中生全員が握っています。今日から全力全開の吉見中学校2学期がスタートです！！

生徒一人一人の社会的自立に向けて

学校は集団生活が基盤です。学校では、生徒同士が、常にお互いに関わりながら互いに向上できるように生活していきます。集団教育の良さは、異なる性格の個性がぶつかり、互いに磨き合えることです。

私たち教職員は、日頃の指導の中で「異なる性格の個性が集まって」「互いに磨かれる」場を、意図的に多く作るようにしています。学力だけを付けるなら、学校でなくてもできます。学校の良さは、集団で学べることです。ですから、吉見中学校全生徒338名が、揃って学校へ登校してくれることが、何よりだと思っています。

子供たちは誰もが、自分らしく生き生きと過ごしたいと願っています。しかし、友人関係や学習面、教職員や先輩との関係、家族関係等にストレスを感じながら生活している子供も多くいます。結果、登校すること自体が大きな負担となり、いわゆる不登校につながる場合があります。

不登校の要因は様々です。不登校は、誰にでも起こり得ます。むしろ、不登校時期が、自分を見つめ直す等の積極的な意味をもつことさえあります。

私たち教職員は、これらのことを正しく理解した上で、学校は集団教育が基盤ですから、全員が登校してくることを願っていますし、それが学校としての在り方だと考えています。もちろん、学校に登校するという結果のみを目標とはしません。私たちは、すべての生徒が、将来、社会的自立を果たしてくれることを目指しています。そのための支援は、2学期も余念なく取り組んでいきます。

すべての生徒にとって、学校生活の中で一番長い時間を過ごす場所は学級です。その学級が、安全・安心な居場所であることが何よりも重要です。

私たち教職員は、「自己肯定感を高めるための支援」「人間関係づくり」「基礎学力の定着」などを積み上げていき、2学期も生徒が毎日通いたいと思える魅力ある学校(学級)づくりに取り組んでいきます。

生徒の皆さんを始め、保護者の皆様も、学校生活を送る上で心配なことがありましたら、遠慮なくどうぞお気軽に学級担任へ御相談ください。



2年連続！！

西関東吹奏楽コンクール 出場おめでとう！！

去る8月10日(土)に、さいたま市文化センターで行われました「第65回 埼玉県吹奏楽コンクール(県大会)」にて、本校吹奏楽部が見事「中学生Bの部」で金賞を受賞し、西関東吹奏楽コンクールへの出場切符を手に入れました。

本校吹奏楽部にとっては、2年連続の快挙です。誠におめでとうございます。

勝因はいろいろあると思いますが、目標を高く掲げ、日々の積み重ねを着実にやっていくことに尽きると思います。「千里の道も一歩から」、まさにこのことを結果で体現してくれた吹奏楽部は、本校にとって大きな誇りでもあります。

当日夜、部員たちの帰着を学校で待っていると、保護者の方も多数集まっていました。そして目を引いたのが「一音入魂 挑戦の夏！夢と感動をありがとう ～魂を震わす音楽を～」のお手製横断幕です。

話を聞くと、西関東大会出場が決まったことを受け、急いで手作りで作成したそうです。とてもうれしいことです。

吹奏楽部員は日々の練習の中で、確実に着実に力をつけていますが、保護者と生徒、そして学校が一体となっていることも、大きな要因です。

西関東大会は、9月14日(土)に、所沢市文化センター ミューズで行われます。西関東大会での活躍も期待しています。



昭和44年度卒業生の熱い思い 確と受けました

昨年度の学校だより「第11号」では、「地域と卒業生に支えられる吉見中学校」という見出しで記事にしましたが、本校は吉見町にとって唯一の中学校です。本校からすると「地域」とは吉見町内全域であり、その全域には本校の卒業生がいることになります。

そんな吉見町全域から多くの期待をされつつ、多くの支援も受けています。これは本当にうれしいことですし、ありがたいことです。

このたび、昭和45年3月に卒業した3年3組の同級生一同様より「母校の教育充実発展のために」と多大な寄付金を頂戴いたしました。中学校を卒業して54年が経過するにも関わらず、こうして母校である吉見中学校のことを気にかけていただいていること自体が恐縮しきりです。

学校の歴史と伝統は、こうして積み重なっていくことを、改めて痛感した次第です。

本校に対する卒業生の期待に、なお一層応えるために、日々の教育活動を愚直に推し進めてまいります。このたびは、誠にありがとうございました。

本校における学習環境を整えていくために、有効に活用させていただきます。

御礼 (PTA資源回収)

1学期末の7月13日(土)に、本校PTAによる資源回収を実施しました。

会員の皆様には、早朝より御対応いただきまして、誠にありがとうございました。また、地域の皆様も、本校のために多くの資源提供をありがとうございました。

収益については、子供への学習環境を整えていくために、有効に活用させていただきます。

このようなPTA行事は、教員と保護者、そして地域の方とのコミュニケーションが図れる大切なものと考えています。これからも三位一体となった教育活動を展開していく所存ですので、引き続きの御支援をよろしくお願いいたします。

吉見中生の活躍

学校総合体育大会(県大会)	
○陸上競技 ・2年男子100m予選通過(B決勝進出惜敗) 大津 一恭 ・男子800m予選惜敗 久保田 莉央 ・男子200m予選惜敗 松本 洸希	
○バドミントン女子 ・個人戦ダブルス2回戦惜敗 木村 芽愛・松本 真実	
○水泳 ・女子200mバタフライ予選惜敗・女子100mバタフライ予選惜敗 神田 陽南	
○卓球男子 ・シングルス1回戦惜敗 鯨井 大翔	
埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会	埼玉県吹奏楽コンクール(県大会)
○吹奏楽部 ・中学生Bの部 金賞(県大会出場)	○吹奏楽部 ・中学生Bの部 金賞(西関東大会出場)